

除草剤

兆 1 キロ粒剤

ピラクロニル粒剤

平成 29 年 10 月 25 日付けで以下の適用拡大が登録されました。

【変更内容】

- ・使用方法に「無人ヘリコプターによる散布」を追加する。

【変更後】

作物名	適用雑草名	使用時期	使用量	本剤の使用回数	使用方法	ピラクロニルを含む農薬の総使用回数
移植水稲	水田一年生雑草 及び マツバイ ホトケルシ ヘラモダカ ウリカ ヒムシロ ホダカ クダマ コキヤウ	移植時	1kg /10a	1回	田植同時 散布機で 施用	2回以内
		植代後～移植7日前 又は 移植直後～ バエ1.5葉期 ただし 移植後30日まで			湛水散布 又は 無人ヘリコプターによる散布	
直播水稲	水田一年生雑草 及び マツバイ ホトケルシ ウリカ ヒムシロ	は種時			は種同時散布機で 施用	
		湛水直播のは種直後～ 稲出芽前 ただし 収穫60日前まで			落水散布 又は 無人ヘリコプターによる散布	
		湛水直播の稲出芽始期～ バエ1.5葉期 ただし 収穫60日前まで			湛水散布 又は 無人ヘリコプターによる散布	

次項へ続く

前頁より続く

使用上の注意事項の変更

【追加事項】

- ・ 本剤を無人ヘリコプターで散布する場合は、次の事項に注意すること。
 - ・ 散布は使用機種の使用基準に従って実施すること。
 - ・ 専用の粒剤散布装置によって湛水散布すること。
 - ・ 事前に薬剤の物理性に合わせて粒剤散布装置のメタリング開度を調整すること。
 - ・ 散布薬剤の飛散によって他の植物に影響を与えないよう散布区域の選定に注意し、当該水田周辺部への飛散防止のため散布装置のインペラの回転数を調整し、圃場の端から5m離れた位置から圃場内に散布すること。
 - ・ 水源池、飲料用水等に本剤が飛散、流入しないよう十分注意すること。
- ・ 蚕に対して影響があるので、周辺の桑葉にはかからないようにすること。

【変更前】

- ・ 水産動植物（藻類）に影響を及ぼすので、河川、養殖池等に飛散、流入しないよう注意して使用すること。
- ・ 散布後は水管理に注意すること。
- ・ 散布器具及び容器の洗浄水は、河川等に流さないこと。また、空容器、空袋等は水産動植物に影響を与えないよう適切に処理すること。

【変更後】

- ・ 水産動植物（藻類）に影響を及ぼすので、河川、養殖池等に飛散、流入しないよう注意して使用すること。
- ・ 無人ヘリコプターによる散布で使用する場合は、飛散しないよう特に注意すること。
- ・ 散布後は水管理に注意すること。
- ・ 散布器具及び容器の洗浄水は、河川等に流さないこと。また、空容器、空袋等は水産動植物に影響を与えないよう適切に処理すること。

使用上の注意事項などについては、製品に貼付されているラベルを参照のこと。

住友化学株式会社